

令和7年度 山梨県立大学大学院看護学研究科博士前期課程 科目等履修生募集要項

1 趣旨

山梨県立大学では、令和7年度に大学院で開講する科目のうち特定の科目について、次により科目等履修生を募集します。科目等履修生は、授業科目を履修し、所定の試験等に合格した場合、本学の単位が修得できます。

本学の学生と共に意欲的に履修される方々の応募を期待します。

2 募集人員

各科目若干名

3 入学の時期

令和7年4月

4 出願資格

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学（以下「大学」という。）を卒業した者及び令和7年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学評価・学位授与機構（以下「学位授与機構」という。）から学士の学位を授与された者及び令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（昭和28年文部省告示第5号）
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (7) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本学研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (8) 令和7年3月31日までに大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了した者、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したと本学研究科が認めた者
- (9) 看護系の短期大学、専修学校、各種学校等を卒業・修了し、本学研究科において、個別の出願資格認定により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達した者及び令和7年3月31日までに22歳に達する者

***書類を提出する前に各担当教員に面談の予約を取り面接を受けること。**

連絡先については、P4～8を参照してください。

5 履修対象科目

- (1) 「令和7年度山梨県立大学大学院看護学研究科科目等履修生への開講予定科目一覧」のとおりです。
- (2) 履修できる単位は、10単位を限度とします。

6 入学料及び授業料

入学検定料及び入学料が改定された場合は、施行された時点から適用されます。

- (1) 入学検定料
9,800円
- (2) 入学料
28,200円（入学の1年前から引き続き山梨県に住所を有する者）
47,000円（その他の者）
- (3) 授業料
1科目 29,600円（1単位あたり14,800円）

7 出願書類等

- (1) 科目等履修生入学願書
- (2) 写真1枚（出願前3ヶ月以内に撮影した上半身正面縦4cm×3cmのものを願書に貼付してください。）
- (3) 履修希望科目
- (4) 履歴書（本学所定の用紙）
- (5) 山梨県立大学大学院看護学研究科科目等履修生志望理由書（本学所定の用紙）
- (6) 出願資格を証明する書類
最終学校の卒業証明書もしくは卒業見込証明書又は看護師免許状などその資格に関する証明書の写し
- (7) 入学検定料
最寄りの銀行等に備え付けの「振込依頼書」に必要事項を記入のうえ、入学検定料9,800円を本人名義で振り込んでください（ATMは利用しないでください）。なお、振込手数料は本人負担でお願いします。
振込時に、受取った「振込金受領書」のコピーを出願書類と併せて提出してください。
なお、振込依頼書の記入は次のとおりです。

口座番号等	山梨中央銀行	県庁支店	普通	672195
口座名義	公立大学法人 山梨県立大学			

- (8) その他
 - ①書類を提出する前に、各担当教員に面談の予約を取り面接を受けること。
連絡先については、P4～8を参照してください。
 - ②本学大学院修了生で、専門看護師（CNS）資格取得のために開講予定科目以外に履修を希望する場合は担当教員にご相談ください。

8 出願手続

- (1) 出願方法
出願書類を持参するか、書類を封筒（角形2号 ※33cm×24cm）に入れ、表に「大学院科目等履修生出願書類在中」と朱書きし、簡易書留で郵送してください。

- (2) 出願先
〒400-0062
山梨県甲府市池田1丁目6番1号
公立大学法人山梨県立大学 池田事務室 大学院担当
- (3) 出願期間
令和7年1月20日（月）から2月17日（月）まで【必着】
郵送の場合は、令和7年2月17日（月）までに必ず到着するよう郵送期間を十分に考慮のうえ発送してください。
- (4) 受付期間
受付は期間内の土・日曜日及び祝日を除く平日の午前9時から午後5時まで

9 結果発表及び入学手続

- (1) 結果発表
令和7年2月21日（金）
- (2) 発表方法
郵送により出願者全員にお知らせします。電話での照会には一切応じません。
- (3) 入学手続
合格者で入学される方は、所定の日までに入学手続を完了してください。
なお、入学手続に必要な書類は別途お送りします。

10 その他

- (1) 時間割は、決定している場合、履修許可通知書の発送の際にお知らせします。
決定していない場合は、4月上旬のオリエンテーション時に、担当教員に確認をしてください。
- (2) 納入した検定料・入学料・授業料は返還しません。
- (3) 修得した単位については、本人の申請により単位修得証明書を交付します（翌年4月以降）。
- (4) 在学証明書・学割証・通学証明書は発行できません。
- (5) 出願書類等は、志願者本人が黒のインク又はボールペンで丁寧に記入してください。
（シャープペンシル・消せるボールペンは不可）
- (6) 募集要項に関して不明な点は、次に照会してください。
公立大学法人山梨県立大学 池田事務室 大学院担当
TEL：055-253-7859 FAX：055-253-7781

令和7年度山梨県立大学大学院看護学研究科科目等履修生への開講予定科目一覧

区分	科目名	予定教員名	開講予定時期	科目の概要
共通科目	理論看護学	内田一美	前期	卓越した看護実践の基盤となる看護理論について、理論の変遷や分類、主要概念と各看護理論の看護実践への適応について教授し、理論と実践の循環性を探求します。 【連絡先】内田 E-mail : h-uchida@yamanashi-ken. ac. jp 研究室 : 055-253-9351
	看護政策学	鄭佳紅	前期	我が国における看護政策と看護政策過程の理解を深め、医療・看護の変革期における諸課題を探究し、高度専門職業人としての人材を育成するとともに、地方における医療・看護の現状と政策決定過程を教授する。 ゲストスピーカーを交えて、講義と演習、プレゼンテーションおよびディスカッションをもとに学習を進める。身近な看護政策の課題について検討し、課題解決のための方策を検討し意見交換を行うことで、政策提言までのプロセスを学ぶ。 【連絡先】鄭 E-mail : k-tei@yamanashi-ken. ac. jp 研究室 : 055-253-9378
	看護倫理学	山下早苗 米田昭子	前期	倫理的に考える力をどのように高めていくことができるか内省行動を体験しながら、現場での倫理的側面の調整力や指導、教育への課題に気付くよう講義及び演習形式で（グループ学習・討論）学習します。 【連絡先】米田 E-mail : yonedaok@yamanashi-ken. ac. jp 研究室 : 055-253-9445
	看護管理論	鄭佳紅 中込洋美	前期	看護管理学の基盤となる諸理論をふまえ、看護管理者あるいは高度実践看護師として変革するための知識を学び、変革の能力を養う。 看護管理に関連する諸概念について、プレゼンテーションを行う。プレゼンテーションは、概念についての基本的事項、および関連する事象についての文献レビューをもとに行う。また、文献レビューの中から代表的な論文一つをとりあげ、その論文に述べられている結果・考察について、看護管理に関する概念に基づきながら分析を行う。 【連絡先】鄭 E-mail : k-tei@yamanashi-ken. ac. jp 研究室 : 055-253-9378
	コンサルテーション	前澤美代子	後期	ケア提供者が抱える複雑で困難な問題解決を助けるためのコンサルテーションの概念、プロセス、タイプとモデル、技法を教授する。また、コンサルタントとして必要な総合的な判断力の基盤について教授します。 【連絡先】前澤 E-mail : miyomae@yamanashi-ken. ac. jp 研究室 : 055-253-9148

区分	科目名	予定教員名	開講予定時期	科目の概要
共通科目	臨床薬理学	前澤美代子 米田昭子 成田年 森友久 他非常勤講師	前期	<p>複雑で治療が困難な状況にある患者に対する応急処置や症状調整、慢性疾患管理に必要な薬剤を中心に、薬剤の適正使用の判断、投与後の患者モニタリング、生活調整、回復力の促進、患者の服薬管理能力の向上を図るための知識と技術を教授します。</p> <p>【連絡先】米田 E-mail : yonedaok@yamanashi-ken. ac. jp 研究室 : 055-253-9445</p> <p>【連絡先】前澤 E-mail : miyomae@yamanashi-ken. ac. jp 研究室 : 055-253-9148</p>
	フィジカルアセスメント	前澤美代子 山内豊明	後期	<p>複雑な健康問題を持つ対象の身体状況について系統的に全身を審査し、臨床看護判断を行うために必要な知識と技術を修得します。フィジカルアセスメントの概念と方法論について学び、生活機能および QOL の視点から臨床判断のプロセスを通して、高度な臨床判断能力を教授します。</p> <p>【連絡先】前澤 E-mail : miyomae@yamanashi-ken. ac. jp 研究室 : 055-253-9148</p>
	地域環境保健論	小田切陽一	前期	<p>疾病予防と健康増進の重要性について科学的根拠に基づく (Evidence-based) 理解ができるように疫学や統計学の基礎を確認しながら学修を進める。地域で生活する個人や集団の健康課題が日常生活習慣 (ライフスタイル) や生活環境の良否と関連していることを、研究事例を通して理解を深める。テーマは「食生活と健康、食生活とがん (R4 年度)」「運動と健康 (R3 年度)」「認知症予防と食生活・栄養 (R5 年度)」等とし、教員が原著論文やその abstract のクリティークを言語化することで、受講生は研究者がどのように論文を読んでいるのかを理解する。最終回には、受講生が関心のあるテーマを選びディスカッションを深める。</p> <p>【連絡先】小田切 E-mail : odagiri@yamanashi-ken. ac. jp</p>
	病態生理学	米田昭子 中村政彦 他非常勤講師	後期	<p>エビデンスに基づき、対象の病態生理学的変化の解釈を通して、臨床看護判断、及びケアとケアの融合による高度な看護実践を行うための基盤となる知識と技術を教授します。</p> <p>【連絡先】米田 E-mail : yonedaok@yamanashi-ken. ac. jp 研究室 : 055-253-9445</p>

区分	科目名	予定教員名	開講予定時期	科目の概要
専 門 科 目	在宅看護学特論Ⅰ ＜研究コース＞ 在宅看護学特論Ⅰa ＜専門看護師コース＞ ※	泉宗美恵 佐藤悦子	前期	我が国の保健医療福祉制度や在宅ケアシステムの現状を理解し、効果的な在宅看護提供システムについて教授します。また、在宅療養者及び家族のニーズに対応したケアマネジメント能力を習得し、在宅看護に関わる関係機関・職種のネットワーク構築、多職種連携とチームアプローチ、退院支援・調整による在宅移行の可能性を探究できるよう教授します。 【連絡先】 泉宗 E-mail: izumune@yamanashi-ken.ac.jp 研究室: 055-253-9183
	在宅看護学特論Ⅱ ＜研究コース＞ 在宅看護学特論Ⅱa ＜専門看護師コース＞ ※	泉宗美恵	前期	在宅療養者と家族の健康や生活に活用できるフィジカルアセスメント・セルフケアアセスメント・家族アセスメント・生活環境アセスメントの理論やモデルを学び、在宅看護専門看護師に必要な包括的アセスメントの能力を教授します。 【連絡先】 泉宗 E-mail: izumune@yamanashi-ken.ac.jp 研究室: 055-253-9183
	老年看護学特論Ⅰ ＜研究コース＞	渡邊裕子 小山尚美	前期	老年看護実践を支えるエイジングならびに高齢者の健康の概念に関する諸理論について学修します。また、高齢者とその家族の健康上のニーズを包括的にアセスメントするための諸理論ならびにケアマネジメントに関する諸理論について学修します。 【連絡先】 渡邊 E-mail: yuwatanabe@yamanashi-ken.ac.jp 池田事務室: 055-253-7780
	老年看護学特論Ⅱ ＜研究コース＞	渡邊裕子 小山尚美	前期	高齢者のサクセスフルエイジング（幸福な老い）に関する諸理論をふまえ、サクセスフルエイジング（幸福な老い）を可能にするために必要なソーシャル・サポート（フォーマル・インフォーマル）の諸理論、及びそのネットワークの必要性について考究できるよう学修します。また、わが国の高齢者保健福祉政策の歴史的変遷を理解するとともに、高齢者の権利擁護およびサポートシステムの課題について考究できるよう学修します。 【連絡先】 渡邊 E-mail: yuwatanabe@yamanashi-ken.ac.jp 池田事務室: 055-253-7780
	がん看護学特論Ⅰ ＜研究コース＞ がん看護学特論Ⅰa ＜専門看護師コース＞ ※	前澤美代子 高岸弘美 羽田真朗	前期	がん分野における分子生物学・遺伝学を含む病態生理学全般を学び、がん看護に関連した専門的知識を教授します。 具体的にはがんの病態生理、発がん予防、診断、がんと治療、がんに伴う諸症状の病態生理と治療、緊急症状とその対処法などの専門知識を教授します。また、がん予防及び早期発見のための教育・啓発活動に必要な知識を教授します。 【連絡先】 前澤 E-mail: miyomae@yamanashi-ken.ac.jp 研究室: 055-253-9148

区分	科目名	予定教員名	開講予定時期	科目の概要
専 門 科 目	がん看護学特論Ⅱ ＜研究コース＞ がん看護学特論Ⅱa ＜専門看護師コース＞ ※	前澤美代子	前期	がん看護分野において活用される主要となる理論について教授します。 具体的には、危機・悲嘆、症状マネジメント、エンパワーメントなどの理論についてディスカッションを入れながらわかりやすく解説します。また実践への応用に向けて事例検討を行い、がん看護実践の質の向上を目指した理論の活用を教授します。 【連絡先】 前澤 E-mail: miyomae@yamanashi-ken.ac.jp 研究室: 055-253-9148
	看護管理学特論Ⅰ ＜研究コース＞	鄭佳紅 中込洋美	前期	質の高い看護サービスを提供することをめざし、看護職が所属するヘルスケア関連組織について、組織論・組織行動論を基盤に、現状と照らし合わせながら看護管理の在り方を探究できるよう教授する。 組織行動学に関連する諸概念について、プレゼンテーションを行う。プレゼンテーションは、概念についての基本的事項、および関連する事象についての文献レビューをもとに行う。また、文献レビューの中から代表的な論文一つをとりあげ、その論文に述べられている結果・考察について、組織行動学に関する概念に基づきながら分析を行う。 【連絡先】 鄭 E-mail: k-tei@yamanashi-ken.ac.jp 研究室: 055-253-9378
	看護管理学特論Ⅱ ＜研究コース＞	鄭佳紅	前期	質の高い看護サービスを提供することをめざし、看護職が所属するヘルスケア関連組織におけるサービスについて、そのしくみや特性を学び、よりよいサービス・マネジメントの在り方を探究できるよう教授する。 サービス・マネジメントについて、関心事(身近な事例等)をもとに各テーマのプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションは、関連する事象について、具体的な記述をもとに基本的概念や理論等に照らして分析を行う。 【連絡先】 鄭 E-mail: k-tei@yamanashi-ken.ac.jp 研究室: 055-253-9378
	看護管理学特論Ⅲ ＜研究コース＞	鄭佳紅	後期	保健・医療・福祉に関する制度・政策の動向を踏まえ、医療経済・経営における基礎的理論を理解する。看護職として組織経営に参画する意義と方法について学び、よりよい看護サービスを提供するための役割を探究することができるよう教授する。 医療経済や経営的な視点を培うため、ゲストスピーカーを交えて、プレゼンテーションおよびディスカッションを行う。 【連絡先】 鄭 E-mail: k-tei@yamanashi-ken.ac.jp 研究室: 055-253-9378

区分	科目名	予定教員名	開講予定時期	科目の概要
	看護管理学特論Ⅳ ＜研究コース＞	鄭佳紅 中込洋美	後期	<p>組織における人的資源管理（HRM）の基本的理論および方法論を学び、看護職のキャリア・ディベロップメントについて探究することができるよう教授する。</p> <p>組織における人的資源管理およびキャリア・ディベロップメントに関する各テーマの関心事（身近な事例等）について、文献検討をもとにプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションは、関連する事象について、具体的な記述、および文献レビューを行い、基本的概念や理論等に照らして分析を行う。</p> <p>【連絡先】 鄭 E-mail : k-tei@yamanashi-ken.ac.jp 研究室 : 055-253-9378</p>

*各科目2単位

*本学大学院生の履修状況により開講をしない場合もある。

*「※」のついた科目は、コースにより科目名が変わるが、授業内容は同じである。

提出書類の「履修希望科目」の欄にはどちらかの科目名を記入すること。

*書類を提出する前に、各担当教員に面談の予約を取り面接をすること。